

市立保育園の園舎設置年と存続方針案

	園名	設置年	耐震	存続方針（案）
1	中央保育園	昭和 51 年（平成 2 年増築）	無し（増築部分のみ有り）	閉園 ただし、当分の間は存続
2	あすなろ保育園	昭和 54 年	無し	閉園 ただし、当分の間は存続
3	富奥保育園	平成 4 年（平成 13 年、18 年増築）	有り	存続
4	御経塚保育園	平成 7 年（平成 17 年増築）	有り	存続
5	押野保育園	平成 11 年	有り	存続

今後の市立園の在り方：民間による新園開園後においても、あすなろ保育園や中央保育園の閉園については、状況を注視しながら、子ども・子育て会議の意見をお聞きして慎重に判断する。

将来的には、市内の基幹園としての役割や、セーフティーネットとしての役割、入園を希望する児童数の増減に対応する機能を担う園として、3 園（押野保育園、富奥保育園、御経塚保育園）を存続させる。

新園誘致スケジュール（案）

2019（H31）年度	2020（H32）年度	2021（H33）年度
公募 ※100～140 人規模	建設	開園

新園の規模の考え方：あすなろ保育園と中央保育園の閉園も視野に、現在の定員（2 園で 125 人）を想定